



海外留学でよくあるお悩み

Q. カナダの入試概要と大学を教えてください

A. 費用が安く、治安が良いため、世界中から留学生が集まります

詳しいアドバイス

カナダの大学は世界的に見て教育水準が高いとされています。またイギリスとアメリカの中間のような聞き取りやすい英語が使われるため、綺麗な英語を習得できる環境として人気です。学費面ではアメリカの半額以下と比較的安い点が特徴で、治安が良く過ごしやすく物価も安いことから日本だけでなく世界中から留学生が集まっています。

今回はそんなカナダの大学の概要や入学方法を中心に、世界ランキングにも登場する人気大学についてもご紹介します。

カナダの大学概要

国内に90校の大学と170校の短大

カナダの4年制大学はそのほとんどが州立の公立大学です。大学数が少ないため各大学の教育水準に大きな差はなく、全体として先進国の中でも高い水準にあります。それぞれの大学が特色・強みを持っており各分野で世界的に評価されていて、日本でこそ知られていなくても欧米での認知度が高いため、カナダの大学入学は欧米での就職に有利とされています。

90校の4年制大学のほか、州立(一部私立)で2年制の短期大学(コミュニティカレッジ)が170校ほどあります。4年制の大学は単位取得が難しく入学基準が高い傾向があるのですが、比較的入学しやすい短大で1~2年次の単位を取得してから大学の3年次に編入することもできるため、多くの学生が活用しています。

また留学生はカナダの大学を卒業後最長3年の就労ビザが取得でき、その上永住権を申請できる制度もあり、世界各国から優秀な留学生がカナダに集まっています。

また、カナダの大学は州ごとに強みとしている分野があり、地元産業と結びついた共同研究も盛んに行われています。地域によって特徴が異なるので、大学選びの参考にするとよいでしょう。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。© ㈱留学情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

カナダの大学の教育制度 卒業まで4年！

カナダの大学の教育制度は日本と同じで、計 4年で卒業することができます。ただし入学に必要な英語のレベルが高いため、大学留学する際のフローとしては以下のパターンが考えられます。

①大学にそのまま入学

英語力が条件を満たしている場合はストレートで大学入学が可能です。

②大学条件付き入学

一定の英語レベルをクリアしている場合は、入学前に特定期間大学付属の ESL(英語を母語としない留学生が英語力を補強するために履修する科目)で勉強し、優秀な成績を修めてから実際に入学、入学から4年で卒業という形になります。

③短大から大学に編入

大学と比較すると入学のハードルの低い短大に入学して好成績を修めてから、3年次で大学に編入するやり方です。場合によっては短大入学の前に短大付属の ESLで学ぶケースもあります

④進学予備校に入学

民間の語学学校で勉強してから、その後の英語力の伸びを見て現地で進学先を選ぶという手段もあります。語学学校の ESLで勉強した後大学に4年通うパターンと、短大2年を経て大学3年次に編入するパターンがあります。

カナダの大学の学部・専攻

カナダの大学では数多くの学部・専攻が選択できます。

中には日本ではなじみのないユニークなものもあり、専攻できる種類は日本より多いです。

特にカナダが強いとされる分野は経営学、マーケティング学、情報工学、観光学、ホテル学、スポーツマネジメント学、国際関係学、開発学、自然環境学、海洋生物学、英語教授学、医学、看護学などです。

例えばカナダ屈指の名門であるトロント大学は国内最大規模の大学で、プログラムの多様性もトップクラス。理工学部、法学部、教育学部、経営・商学部、医学部や看護学部など 17の学部があり、コースにして300以上用意があります。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © (株)留学情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

カナダ大学の入学方法

カナダの教育システムでは、アメリカのように準備コースに入る必要はありません。また日本のように国の機関が教育制度を決めているのではなくそれぞれの州が権限を持っているため、州によっては 4年制大学を3年間で修了できるコースがあったり、2年制大学からの編入を認めていないケースがあったりします。そのため州をまたいで他の大学へ編入をする場合は注意しなくてはなりません。

入試はなし！出願に必要なもの

日本のような入試はありませんが、その分これまでの成績が必要になってきます。特に英語力は重視されます。

- ・入学願書
- ・高校の成績証明書
- ・卒業又は在学証明書
- ・TOEFLスコア

基本的には上記を用意すれば出願が可能です。大学によってはその他にエッセイを用意させるケースもあります。

カナダの4年制大学入学に必要な条件

- ・学歴: 高卒以上(あるいは卒業見込)
- ・成績: 過去3年間の成績が5段階評価で平均3.8以上程度
- ・英語力: TOEFLiBT81以上程度(条件付入学の場合、付属の ESLで準備可能)

カナダの4年制大学は概して入学に必要なレベルが高いです。英語力に自信がなく不安の残る場合は、付属のESLに通って成績を残してから入学するか、下記の短大に入学してから編入するという選択肢もあります。

カナダの短期大学(コミュニティカレッジ)入学に必要な条件

- 学歴: 高卒以上(あるいは卒業見込)
- 成績: 過去3年間の成績が5段階評価で平均3.1以上程度
- 英語力: TOEFLiBT81以上程度(条件付入学の場合、付属の ESLで準備可能)

カナダの短大のコースはアメリカと同様で 2種類あり、4年制大学への編入を目的とした大学進学コースと、就職を目的とした職業訓練コースが設置されています。

大学進学コースでは専攻を絞らずに一般教養を幅広く学び、一方職業訓練コースでは 1年次から希望する専門分野を専攻します。4年制大学と比較すると学費が安めで入学基準も低いいため、まず短大に入学し、短大卒業とのタイミングで大学 3年次に編入する方法が普及しています。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © 留留学情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

カナダ大学の4つの魅力

カナダの大学の特徴として魅力的な点を以下に挙げています。

入試がなく、留学生にとっても門戸が広い

カナダには日本における入試のような、1回のペーパーテストで合否を決定するシステムはありません。入学の判断材料は英語力と日本の高校での成績と卒業証明だけです。そう聞くと入学自体は簡単そうですが、入学に必要な成績のハードルが高いうえ、入学してから単位を取得し卒業するまでが難しいと言われています。

またカナダは国として留学生の受け入れを積極的に行なっています。世界の優秀な人材にカナダで就学・就労してもらい、大学卒業後もカナダのイノベーションのけん引と経済の活性化に貢献してもらおう狙いがあるのです。

教育水準が高い

カナダの大学の数は少ないですが、世界大学ランキングで 100位内に4校ランクインしていることから教育水準の高さがうかがえます。一方、現在日本には数多くの大学がありますが、教育の質には偏りがあります。

卒業後の就職の幅 (Post-Graduation Work Permit)

カナダの公立大学・短大と、一部私立短大・専門学校で 8ヶ月以上のプログラムを受講した場合に取得できる就労ビザがあります。2年のプログラムを取ると3年の就労ビザが発行されるため、移民を目指す人にもカレッジや大学への進学が人気となっています。

多様性を認め合う文化

カナダは移民大国で、移民にフレンドリーな国としても有名です。2020年までに移民を34万人に増やすというイミグレーションプランも発表しています。多国籍な留学生と交流ができ、また留学生にとっても馴染みやすい環境として人気があります。

また永住の権利を得ることも可能で、永住権取得のために大学やカレッジに行っている留学生も多いようです。外国人に対して差別が少なく、親しみをもって接してもらえるという点は魅力的です。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © ㈱留学情報館 All Right Reserved





海外留学でよくあるお悩み

カナダの大学、国内最高ランク

2018年度の世界大学ランキングでも 100位内に入っている国内トップ 4の大学が以下になります。

- ・1位 トロント大学
- ・2位 マギル大学
- ・3位 ブリティッシュコロンビア大学
- ・4位 アルバータ大学

伝統と最高の教育環境を持つ、カナダで最大であるトロント大学が 1位です。

ノーベル賞受賞者を複数人輩出していることで有名ですね。

2位はフランス語圏の英語系大学で、研究大学としての評価が高いマギル大学です。

3位は西部で最大、カナダを代表する総合大学のブリティッシュコロンビア大学で、留学生の受け入れも積極的に行なっています。

また4位には世界でもトップクラスの規模といわれる国立ナノテクノロジー研究所が敷地内にあるアルバータ大学がランクインしています。

世界の大学ランキングでは、1位から順に31位、32位、51位、90位となっています。

ちなみに日本の大学では東大が 28位、京大が36位にランクインしているので参考にしてください。他、世界ランキング外にはなりますがカナダ国内での大学ランキングでは以下の大学が続きます。

- ・5位 キーンズ大学
- ・6位 マクマスター大学
- ・7位 ウェスタン大学
- ・8位 ダルハウジー大学
- ・9位 カルガリー大学
- ・10位 オタワ大学

5位以降の大学も、優秀な学生が集まり数々の賞やランキングに名を連ねているカナダトップレベルの大学群となっています。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。
また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © ㈱留学情報館 All Right Reserved

